

2020/4/24

厚生労働科学研究費 難治性疾患等政策研究事業  
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」(久松班)

# Weekly Summary of Surveillance Epidemiology of Coronavirus Under Research Exclusion (**SECURE-IBD**)

JAPAN IBD COVID-19 TASKFORCE MEMBER

松本主之  
飯島英樹

松岡克善  
平井郁仁

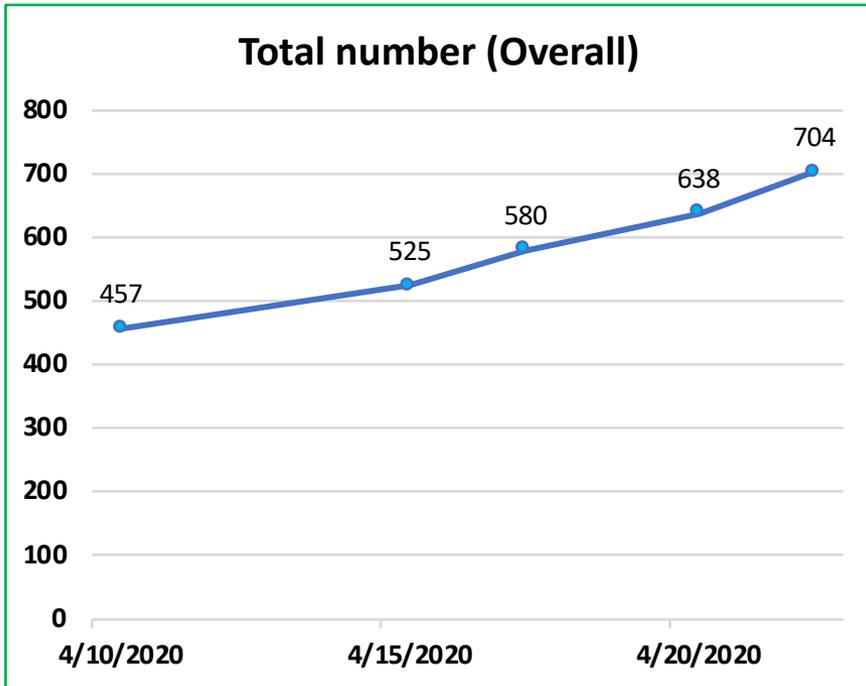
松浦 稔  
石原俊治

大宮直木  
仲瀬裕志

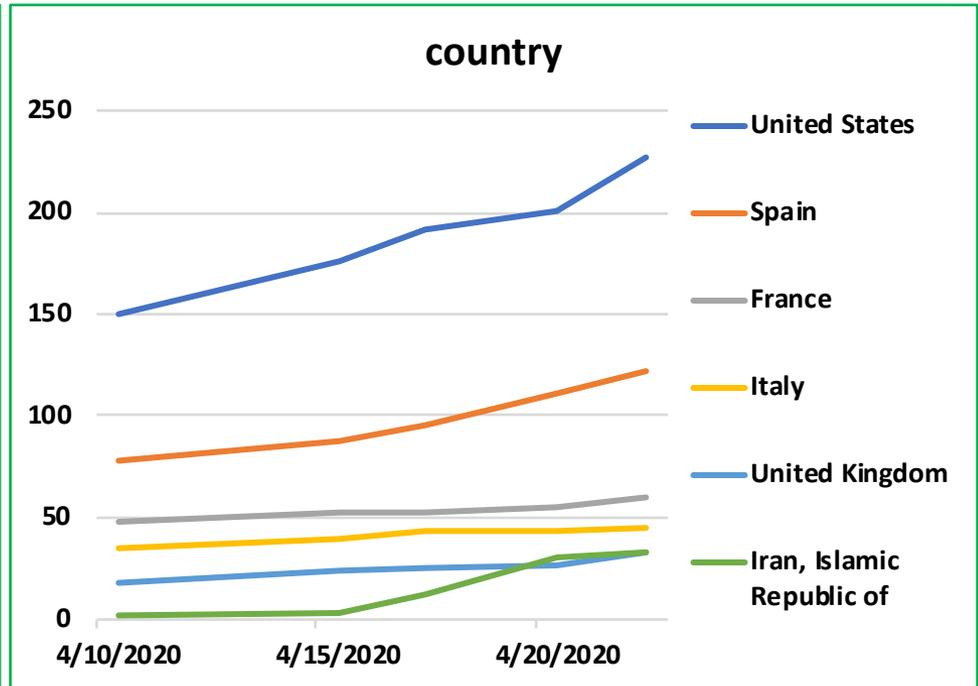
久松理一

Brenner EJ, Ungaro RC, Colombel JF, Kappelman MD.  
SECURE-IBD Database Public Data Update.  
[covidibd.org](https://covidibd.org). Accessed on April /22/2020.

## COVID19感染IBD患者数の推移



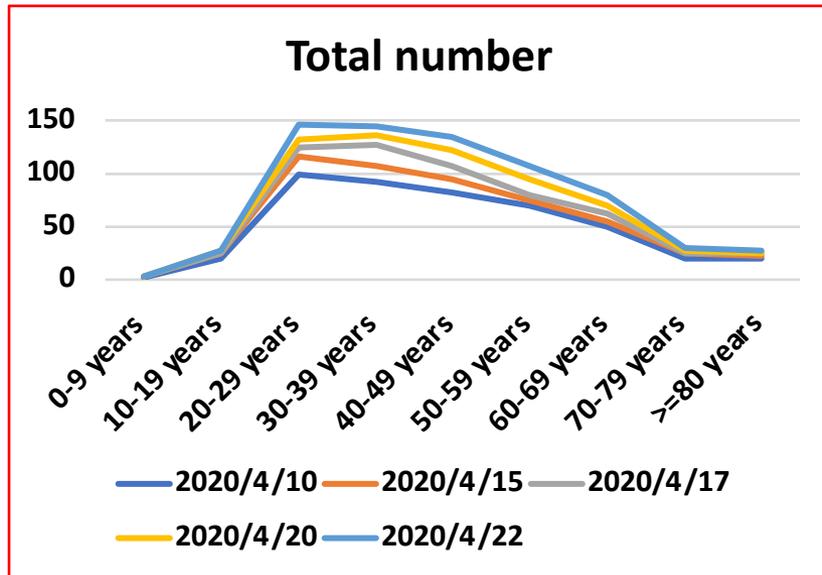
## 感染者数上位6カ国



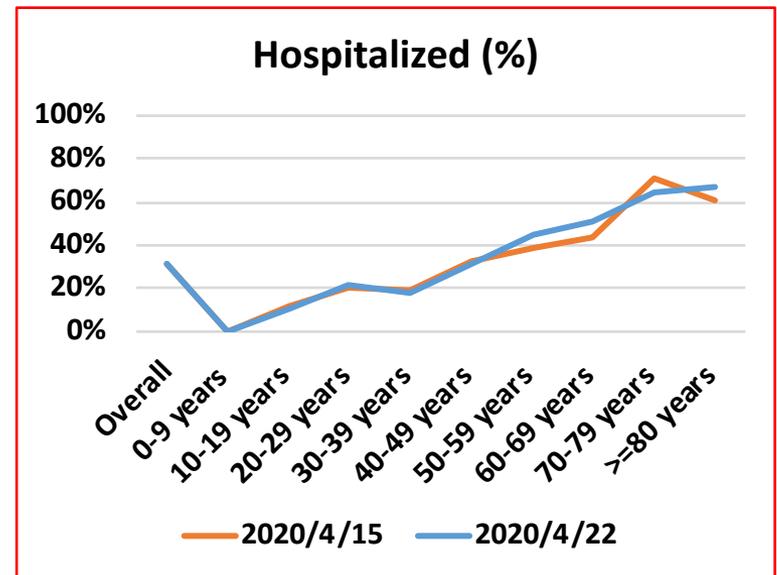
※前回とは表示形式を変更しています。

フランス、イタリア、イギリスはあまり増加していない。  
新たにイランが増加している。

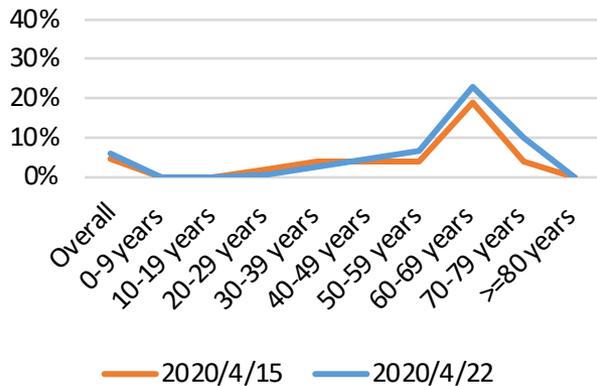
## 感染患者の年齢分布



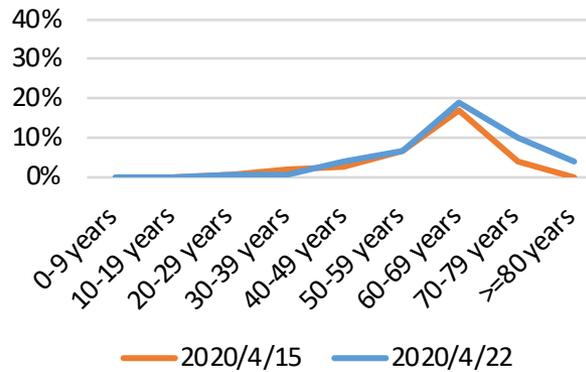
## 入院患者年齢分布



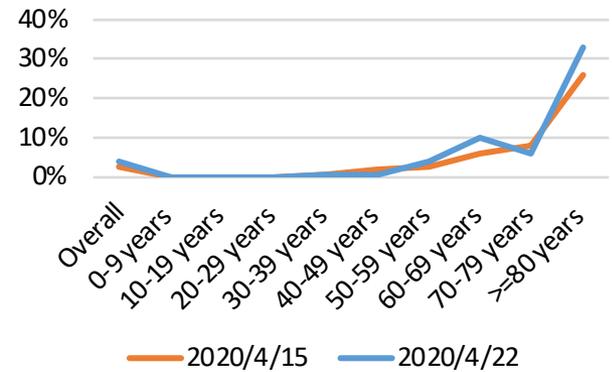
### ICU (%)



### Ventilator (%)



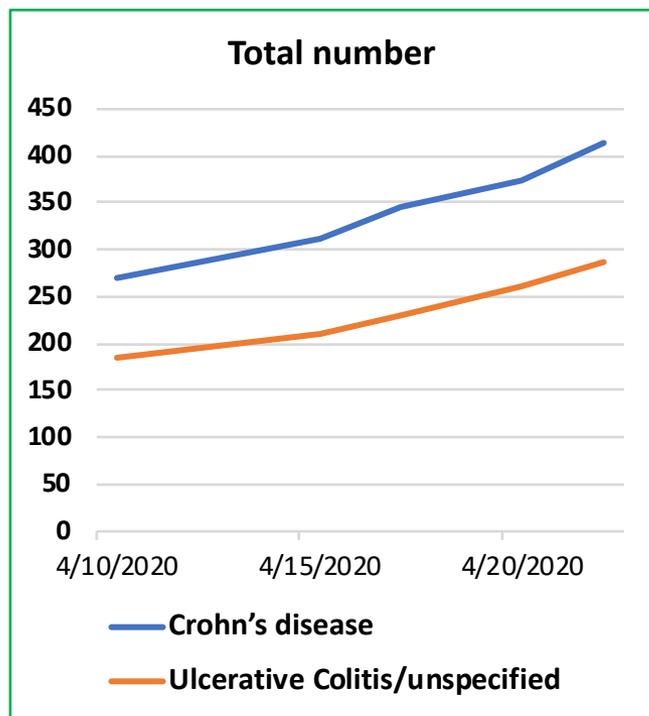
### Death (%)



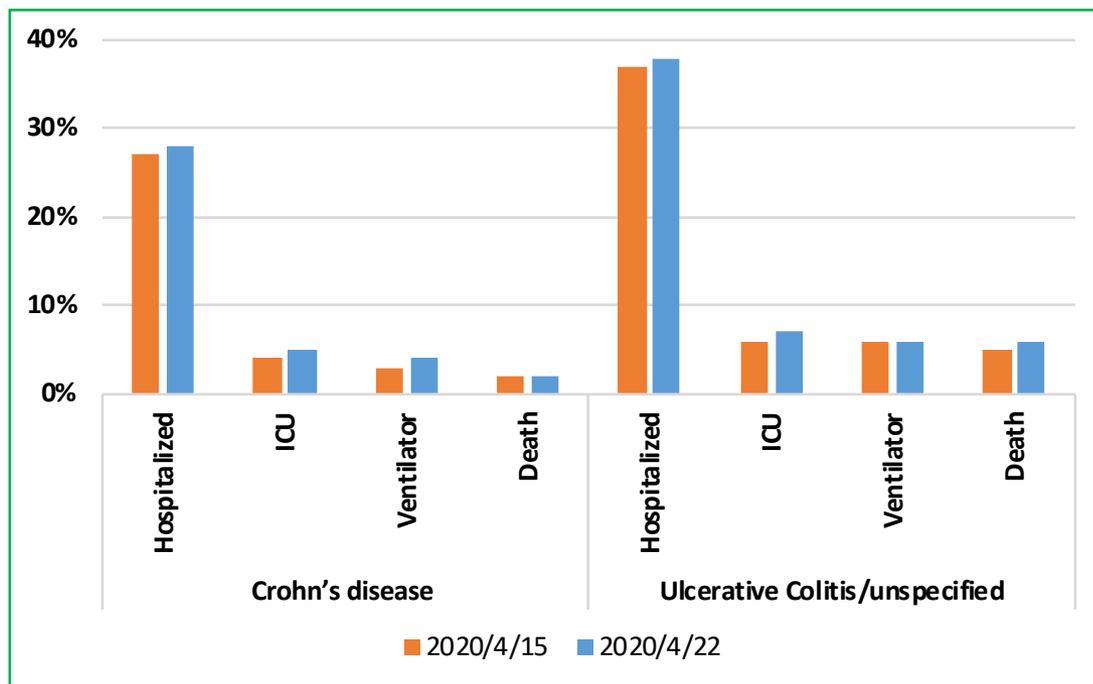
高齢者での重症化率や死亡率は、現時点でも高率である。

※折れ線が重なりbusyになるため、4/10,17,20は削除し、4/15,22の1週間を比較。

## 疾患別患者数



## 疾患別重症度

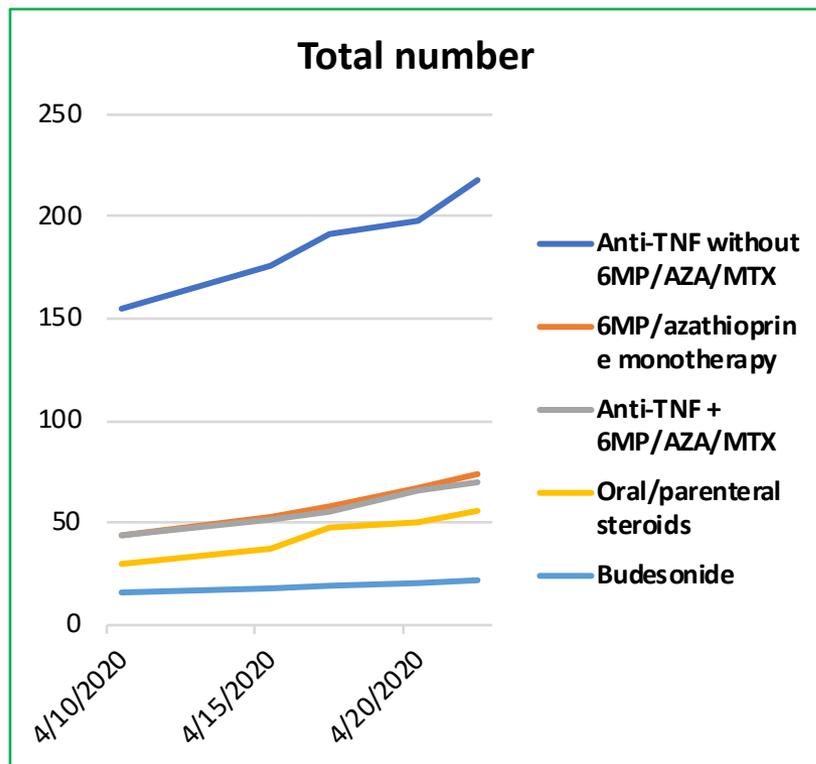


※4/10,17,20は削除し、4/15,22の1週間を比較。

※前回とは表示形式を変更しています。

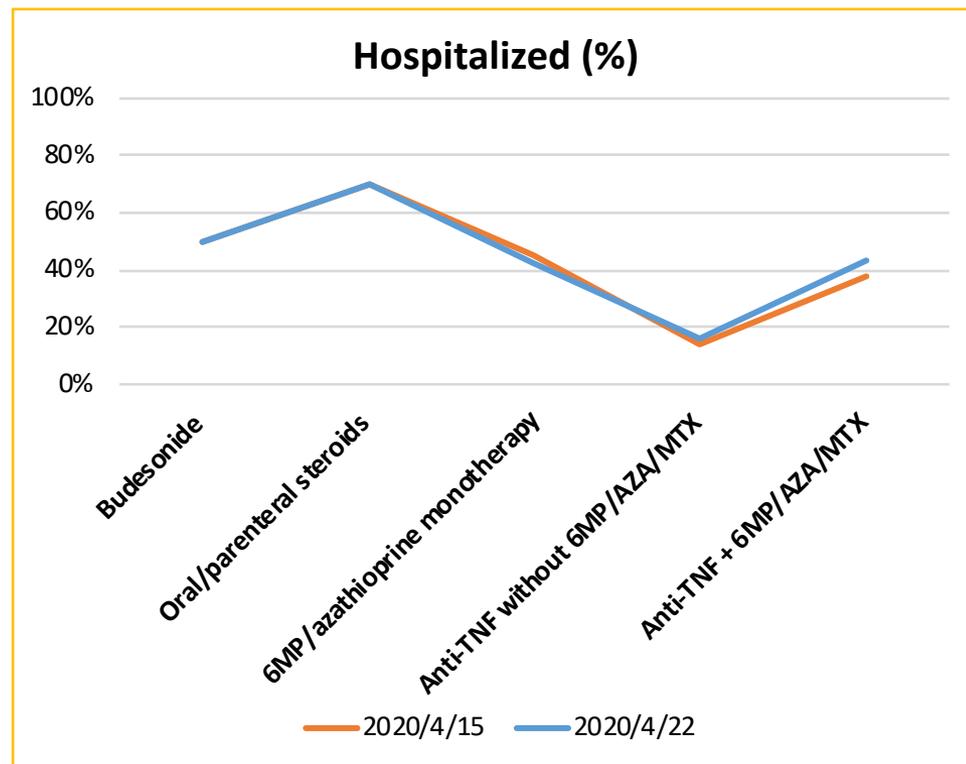
クローン病患者よりも潰瘍性大腸炎患者の方が重症化率が1.5～2倍程度高い。

## 治療別の患者数



※前回とは表示形式を変更しています。

## 治療別の入院率

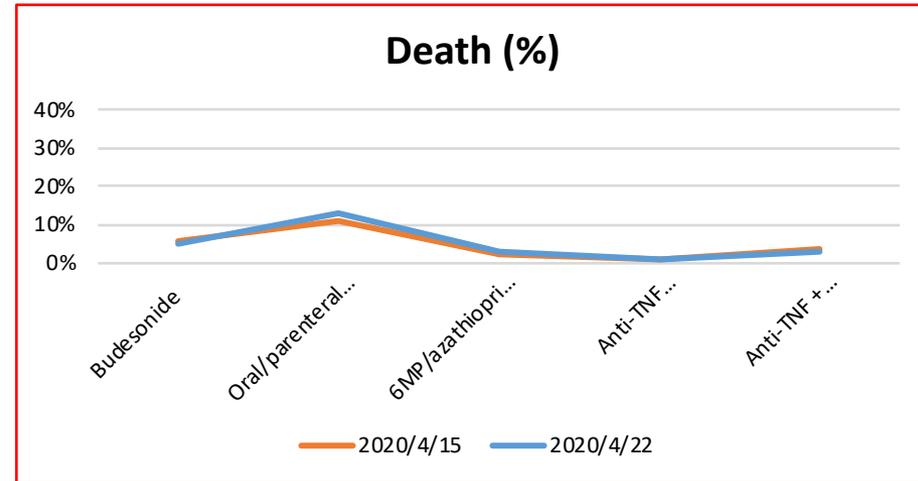
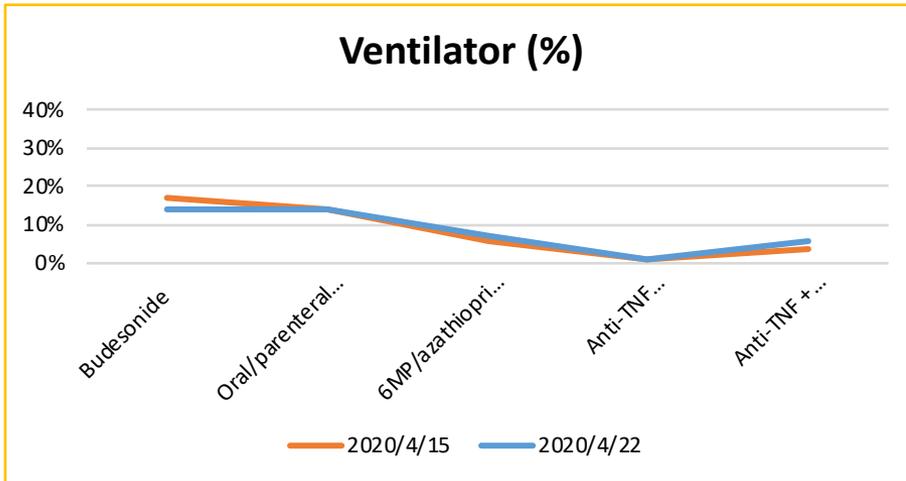
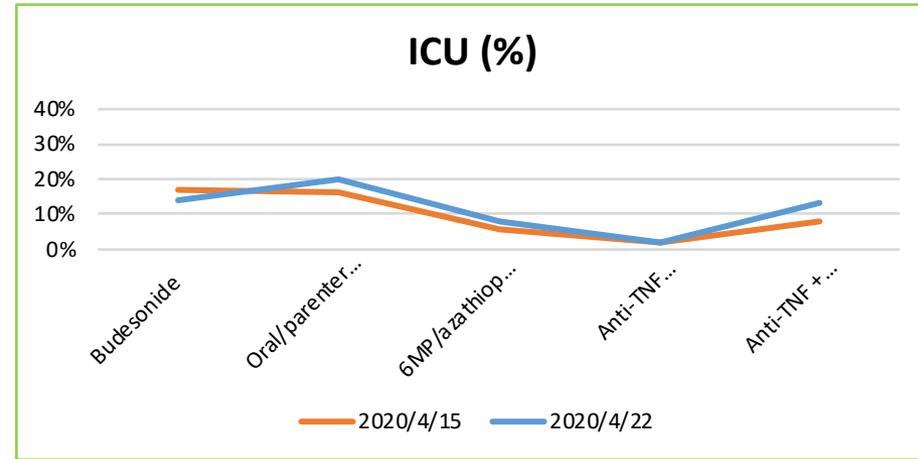


※4/10,17,20は削除し、4/15,22の1週間を比較。

1. Steroid治療中の患者は入院率が高い。
2. 抗TNF $\alpha$ 抗体製剤単独に比べ、6MP/AZA/MTXとの併用治療患者では入院率が高い。

# 治療別の重症率

COVID-19重症化率は抗TNF $\alpha$ 抗体製剤による治療中の患者に比して、ステロイド治療中患者で高い。



ステロイド治療による高い重症化率は、現時点では減少を認めていない。

※4/10,17,20は削除し、4/15,22の1週間を比較。

Q5. COVID-19 pandemic における炎症性腸疾患患者さんに対する内視鏡検査の適応と実施時の注意すべき点を教えてください。

A5. (a)糞便中に SARS-CoV-2 RNA が検出される。(b) SARS-CoV-2 の侵入受容体である Angiotensin-converting enzyme 2 が腸管上皮細胞に発現しており、腸管上皮細胞内でウイルス増殖が行われている可能性がある。以上の2点から、SARS-Cov-2 が糞口感染を起こす可能性が指摘されています。

従って、現時点では、臨床症状が安定している患者さんに対して、サーベイランス目的などの定期的な内視鏡検査は全ての IBD 患者で延期すべきと提案されています。

但し、Pandemic 中でも下記のような状態では、リスクとベネフィットを十分に検討した上で IBD 患者さんに内視鏡検査を実施せざるを得ない場合もあります。

1) 中等症以上の症状で IBD が疑われる患者、2) 中等症～重症の再燃をきたした患者、3) 治療を大幅に強化する必要がある患者、4) 急性重症の再燃で入院した患者

一方で、COVID-19 患者では、呼吸器症状がなく消化器症状を有する割合が成人で約 3%、小児で 10%との報告があります。発熱も呼吸器症状もない IBD 患者さんで消化器症状が出現した場合、その症状については慎重にフォローし、内視鏡検査を考慮する前に、胸部写真・CT も含めた SARS-CoV-2 検査を行うかどうかの判断が必要です。

内視鏡を実施する場合、医療スタッフは Personal Protection Equipment で十分に感染予防をした上で実施すべきです。

#### 参考資料

1. Wu Y, Guo C, Tang L, et al. Prolonged presence of SARS-CoV-2 viral RNA in faecal samples. Lancet Gastroenterol Hepatol. 5:434-5, 2020
2. Neurath MF: Covid-19 and immunomodulation in IBD. Gut. doi: 10.1136/gutjnl-2020-321269
3. Marietta Iacucci, Rosanna Cannatelli, Nunzia Labarile, et al. 2. Endoscopy in Inflammatory Bowel Diseases During the COVID-19 Pandemic and Post-Pandemic Period. Lancet Gastroenterol Hepatol. DOI: 10.1016/S2468-1253(20)30119-9
4. Tian Y, Rong L, Mian W, et al. Aliment Pharmacol Ther. 2020 May;51(9):843-851. doi: 10.1111/apt.15731. Epub 2020 Mar 31.

Q6. 妊娠中の炎症性腸疾患患者さんに関する COVID-19 の重症化リスクについて教えてください。

A6. 現時点では、妊娠中の炎症性腸疾患患者さんに関する COVID-19 重症化リスクに関する直接的な報告はありません。臨床上、参考となる海外からの文献を紹介します。

ニューヨークにおける COVID-19 を発症した妊婦 7 例の case series study :

A) 7 例中 5 例が咳や発熱などの症状を呈し、4 例は入院。

B) 無症状であった 2 例が産後に症状が出現し、ICU での治療を必要とした。

中国の COVID-19 肺炎の臨床基準を満たし治療が行われた武漢在住 118 人の妊婦のデータ (2019/12/8~2020/3/20) :

(a) 妊婦は感染者全体の 0.24%、109 例 (92%) は軽症、9 例 (8%) が重症。

(b) 3/20 までに 109 例 (92%) が軽快退院した。

(c) 一般集団と比較して、妊婦の重症化リスクは同等であった。

(d) 重症化した 9 例のうち、6 例が産後であった。

まだ報告は少ないものの、これらの観察研究の結果から、産後に COVID-19 が重症化する可能性が示唆されています。従って、一般の方と同様に、妊娠中の炎症性腸疾患患者さんが SARS-CoV-2 感染、COVID-19 に罹患された場合、産後の重症化に注意を払う必要があると考えられます。

#### 参考資料

1. Noelle Breslin, Catlin Baptiste, Russell Miller, et al. COVID-19 in pregnancy: early lessons. Am. J. Gastroenterol <https://doi.org/10.1016/j.ajogmf.2020.100111>
2. Chen L, Li Q, Zheng D, et al. Clinical Characteristics of Pregnant Women with Covid-19 in Wuhan, China. N Engl J Med. 2020 Apr 17. doi: 10.1056/NEJMc2009226. [Epub ahead of print]

**<安全性情報をもとにした生物学的製剤・低分子化合物使用中患者の SARS-CoV-2 感染に関する国内の状況>**

各製薬企業に 4 月 23 日時点で報告されている情報\*をお知らせします。

有害事象例の報告は投与されている薬剤との因果関係は否定されているが、使用中患者で SARS-CoV-2 感染が報告された人数になります。

インフリキシマブ（レミケード®） 副作用 0 例（有害事象 1 例）

アダリムマブ（ヒュミラ®） 国内報告事例なし

ゴリムマブ（シンボニ-®） 国内報告事例なし

ウステキヌマブ（ステラーラ®） 国内報告事例なし

ベドリズマブ（エンタイビオ®） 国内報告事例なし

トファシチニブ（ゼルヤンツ®） 国内報告事例なし

\* 上記は自発的な副作用・有害事象報告に基づくものです。